

殖 たちは授業以外でもアワビ  
たの様子をうかがいに来ると  
いう。山本さんは「今後は  
出荷や販売を体験する機会  
を増やしたい。みんなが未  
来の漁業者になってくれた  
らうれしいなあ」と笑顔を  
見せた。(おわり)

(この連載は鹿島支局・井  
上浩平、唐津支局・小川俊  
一が担当しました)



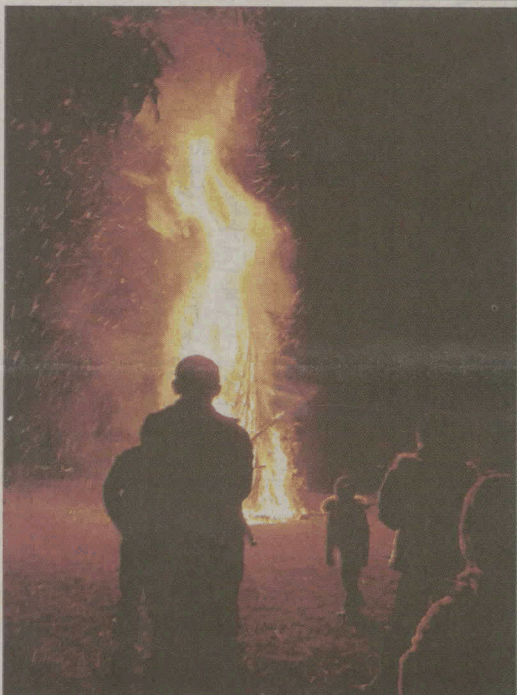
子どもたちとアワビの養殖に取り  
組む馬渡小の山本光子教諭

ほしい」

## 火柱に無病息災祈る

佐賀市三瀬村で「ほんげんぎょう」

竹で組んだやぐらに付  
けた火で体を温め、新年  
の無病息災を祈る「ほん  
げんぎょう(鬼火焚き)」  
が六日、佐賀市三瀬村藤  
原の三瀬温泉「やまびこ  
の湯」であった。赤々と  
燃え上がる炎を住民ら  
は、しばし見入った。  
かつては、旧三瀬村の  
十四カ所で行われた正  
月の伝統行事だが、人口  
減少などから今では三  
カ所のみ。ここの行事  
は伝統を守ろうと、同市  
三瀬支所などが中心とな  
って二年前から行ってい  
る。  
高さ約十メートルのやぐらに  
点火すると、夜空に炎が  
舞い上がり、竹が「パチ



ほんげんぎょうで夜空に舞い上がった火柱  
—6日午後6時すぎ、佐賀市三瀬村

には賞金五万円が贈ら  
れ、入賞作品は観光PR  
に活用される。応募希望  
者は同協会まで作品を郵  
送する。五月末日締め切  
り。応募先は、〒840  
—0826、佐賀市白山  
二ノ七ノ一、佐賀観光協  
会。同協会☎0952(2  
0)2200。

パチ」と弾ける音が闇  
夜に響き渡った。地区の  
住民はしめ縄など正月  
飾りやお札を持ってき  
て燃やしていた。同市三  
瀬村三瀬の無職、福川  
八栄子さん(六八)は「家族  
が健康でありますよう  
に」と今年の安全を誓っ  
た。

### 【有明海況】

(6日午前8時)

有明水振調べ

	水温	比重
沖沖沖	10.6	21.80
川川川	10.9	22.00
後津角田	8.6	21.22
筑早土六塩	9.3	22.3